

福井工業大学

後援会会報

Fukui University of Technology 2017

平成29年4月15日発行

54

福井工業大学
後援会

〒910-8505 福井市学園3丁目6番1号

電話(0776)29-7864

FAX(0776)29-7891

E-mail syomu-u@fukui-ut.ac.jp



特集

学位記授与式・入学式 [2~3P]

- ・ グローバル人材育成について [4~5P]
- ・ 羽ばたく学生たち [6~7P]
- ・ クラブ成績 [8P]
- ・ 寄稿 [9P]
- ・ 学内奨学金について [10~11P]
- ・ 就職関係について [12~13P]
- ・ 大学院進学について [14~15P]
- ・ 研究室を訪ねて [16P]
- ・ 社会貢献 [17P]
- ・ 平成29年度 学部学科別教員一覧 [18P]
- ・ ご相談窓口のご案内 [19P]
- ・ 施設紹介 [20~21P]
- ・ 後援会定期総会・
地区懇談会開催のお知らせ [22~23P]

定期総会・福井地区懇談会

参加申込期限は5月10日(水)です。

年間スケジュール

Annual schedule

前期

4月	1日(土)	学年開始
	3日(月)	入学式
	4日(火)～7日(金)	全体オリエンテーション 学部学科別オリエンテーション 前期受講登録ガイダンス ネットワークセキュリティ講習会
	10日(月)	授業開始(全学年)
	14日(金)～15日(土)	永平寺参禅研修 (1年生学部学科別)第1班

5月	12日(金)～13日(土)	永平寺参禅研修 (1年生学部学科別)第2班
	19日(金)～20日(土)	永平寺参禅研修 (1年生学部学科別)第3班
	中旬～下旬	五月祭
	27日(土)	後援会定期総会・福井地区懇談会

6月	4日(日)	石川地区懇談会
	11日(日)	関西地区懇談会
	18日(日)	東海地区懇談会

7月	2日(日)	滋賀地区懇談会
	23日(日)	富山地区懇談会

8月	7日(月)～	夏季休業
----	--------	------

9月	16日(土)	夏季休業終了
	19日(火)～22日(金)	後期受講登録ガイダンス

後期

9月	25日(月)	授業開始
----	--------	------

10月	7日(土)～8日(日)	大学祭
	9日(月)	大学祭 片付け

11月		
-----	--	--

12月	26日(火)～	冬季休業
-----	---------	------

1月	6日(土)	冬季休業終了
	9日(火)	授業再開
	中旬	学園成人式(式典)
	上旬～下旬	卒業研究発表

2月	5日(月)～	春季休業
----	--------	------

3月	15日(木)	学位記授与式
	31日(土)	春季休業終了 学年終了

すべてを学生・生徒のために

平成二十八年度 学位記授与式

平成二十九年三月十五日(水) 前十時より、金井講堂にて平成二十八年度学位記授与式が挙行了れました。
今年度は、大学院修了生十五名、工学部卒業生四百六十七名、計四百八十二名が本学の学び舎を巣立っていきましました。

平成28年度 卒業記念品



アクリルケース掲示板
(EV内設置) 13機



リサイクルボックス
角穴15台 丸穴15台



平成二十九年 入学式

四月三日(月)、福井工業大学金井講堂にて平成二十九年入学式を挙行了しました。式典には学生、来賓、教職員、保護者等約千四百名が出席しました。
森島学長からは、「自らが主体的に学び、自分で解析することが大学で学ぶことの核心である。与えられたことを学ぶのではなく主体的能動的な学習に切り替えてほしい。そして、学業だけではなく課外活動で仲間と切磋琢磨して人として成長してほしい。」と式辞がありました。
金井理事長からは、「社会にでたら勉強ができればいいわけではない。そのために、大学生活で求められることは、様々な分野を学び知識を吸収し、大学卒業時には豊かな人間性」と知識を備えた必要の人になってほしい。」と告辞がありました。
新入生代表宣誓では、工学部建築土木工学科の白崎陸さんが「建学の精神に則り、勉学に励み、学問の真理探究にまい進する」と宣誓しました。

【入学者数】

学 部		
工 学 部		289名
環 境 情 報 学 部		220名
スポーツ健康科学部		78名
合 計		587名

大学院

応用理工学専攻、 社会システム学専攻		26名
合 計		26名



グローバル人材育成の取組

ネーション大学とのジョイントシンポジウム開催

昨年12月6日(火)に本学と連携協定を締結しているタイ王国ランパン県のネーション大学において、第3回ジョイントシンポジウムが開催されました。

シンポジウムは朝9時にネーション大学のポンギン学長と、本学の尾崎インターナショナルセンター長の開会挨拶から始まり、両大学の教授からさまざまなテーマでの講演が行われました。また、午後からは両大学の学部学生が前もってSNS等で交流しながら準備をしていた、「ランパンの文化PRのためのツール制作ワークショップ」の活動成果をそれぞれプレゼンテーションしました。

プレゼンテーションをした両大学の学生は、このシンポジウムを含めた交流活動を通して、お互いの文化を学び、友好を深めることができました。次年度は福井での開催を予定していますが、この経験が次へつながることをお互いに期待したいと思っています。



また、プレゼンテーションの意見交換など交流を深めることでお互いの文化を理解し合うことができました。

Keep in touch with us
これからも交流が続いていきますように願っています。

ネーション大学との
ジョイントシンポジウムに参加して

工学部産業ビジネス学科4年
林 有理沙

第3回ジョイントシンポジウムでは、タイのネーション大学に訪問し交流を深めてきました。今回のPRツールは「ゆるキャラ」です。イベントやパッケージ、広告等に幅広く活躍できるゆるキャラを活用しました。

まず初めに、インターネットや本などでタイについて調べ、料理や陶芸品などの文化を学びました。初めは言葉や文化の違いから不安でいっぱいでしたが、実際にランパンへ行ってみると、皆さんが温かく迎えてくれました。

海外インターンシップ

企業のグローバル化が進む中で、本学では昨年より県内企業が多く集積するアセアンの中心国、タイ王国での海外インターンシップを行いました。昨年8月21日(日)から3週間の日程で行われ、工学部の3年生12名が参加しました。タイ王国に拠点がある県内優良企業5社で、現地スタッフと一緒に仕事をさせていただきました。また、休日はタイの文化や観光に触れることで、タイ王国やタイ人の分野や習慣を肌で感じることができたかと思っています。



参加した学生からは「ものづくり企業のタイ工場を訪れ、現場見学や仕事のお手伝いをさせていただきました。短い期間でしたが、海外の現場の様子を肌で感じられる貴重な経験になった」との声も寄せられました。



本学では、グローバル人材の育成や地元県内企業への就職を促すため、来年以降は対象学部や研修先企業、実施国を増やしていく方針です。

アセアンオフィス便り

昨年10月13日、タイの国王プーミポン・アドゥンヤデート国王陛下が崩御されました。即位70年の長きにわたりタイの支柱となり、国民に愛されたプーミポン国王陛下。崩御から数か月が経った現在でも、街中にはプーミポン国王の写真が飾られ、その前には記帳できる場所が設けられるなど、国民の敬愛の深さがうかがえます。

深い悲しみに包まれたタイですが、着実にタイ国民は前を向いて新たなスタートを切っています。アセアンの中心国とあるタイ王国で、本学アセアン事務所は今年度も国際化推進のため、さまざまな取り組みを積極的に行っていく予定です。

About study abroad and language training

海外留学について

毎年夏休みと春休みの2回に、海外語学研修を実施しております。参加者は現地の家庭でホームステイをしながら研修先で英語研修を受けることとなります。

平成25年度からは研修を修了すると、学年に応じて「海外語学研修Ⅰ～Ⅳ(各4単位)」を英語科目の単位として認定しています。

この研修には学生への支援として、後援会からも補助を頂いております。

一人でも多くの学生が海外に興味を持ち、現地に行く機会が増え、更に国際社会に対応できる人材になりますよう、大学としても取り組んで参ります。

今後ともご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

平成29年度の語学研修について

夏季休暇中は、大学として初となるアメリカカリフォルニア州への語学研修を実施予定です。英語研修に加え、現地の学生との交流や観光等、様々な異文化体験が出来ます。

春季休暇中は、従来通りオーストラリアを予定しております。多くの学生の参加をお待ちしております。

平成28年度 イギリス語学研修(夏)に参加をして

工学部経営情報学科3年 嘉島 徹

僕は、留学の体験を通してコミュニケーション能力を鍛える事が出来たように感じます。普段の生活から抜け出して海外で少しの間生活するのは少し辛いと思いますが、他学科の人達と接する事も出来るので、貴重な体験になりました。今まで周りに流され易く、生返事をする事が多かった僕ですが、今回の研修を通して「NO!」と言える日本人になりました。



羽ばたく学生たち

鳥人間プロジェクト

鳥人間プロジェクト 顧問
羽木 秀樹 教授（機械工学科）

人間は皆、子どもの頃から空を飛ぶことを夢見るのではないだろうか？私の子どもの時代には、『スーパーマン』がヒーローであり、自由に大空を飛ぶことのできる人間になりたいと真剣に思っていた。鳥人間プロジェクトの顧問になって、この「空を飛ぶ」気持ちが再び強くなってきた。また、飛ぶためには「美しい機体」が必要であることも分かってきた。今年こそ、「琵琶湖の空を飛びたい」とのメンバーの夢が叶えられることを願う。目標の200mを遙かに超えて！

鳥人間プロジェクト アドバイザー
原口 真 准教授（機械工学科）

機体を設計して飛行させるまでの活動を通して、学生達は悪戦苦闘しながらも、実に様々なことを学んでいます。翼の周りにどのように空気を流れるようにすればよいのか、構造部材のカーボンパイプはどのサイズがよいのか、パイロットを守るためにはどういった形にすべきか、機体の製作をいかに精度よくかつ効率的にできるか、方向舵をどうやってモーターで制御するか、機体の飛行状態を数値化するにはどうすればよいのか、等々。実際の物理現象を前に、メンバー達と協力しな

がら熱心に時間をかけて試行錯誤しており、これはそのまま仕事のノウハウにも直結します。一般認知度の高い鳥人間コンテストに関連した、こういった経験は他の部活動やアルバイトでは得難く、就職活動においても他の学生とは明らかに差別化された、印象深い体験談を話すことができます。

鳥人間プロジェクト 学生リーダー
栗本 崇司（機械工学科3年）

私は「ものづくりを学びたい」という思いから鳥人間プロジェクトに参加しました。航空力学の勉強に力を入れるようになり、飛行機の設計というやり甲斐の塊のような活動に、私は夢中になりました。人を乗せて空へ飛ぶ乗り物を作ることは並大抵のことではなく、夜中遅くまで仲間と作り上げた機体が琵琶湖へ飛び立つ瞬間は、今でも忘れることができません。材料力学や流体力学、構造設計等をプロジェクト活動に活かすことで講義や実習以上に知識・技術が身についたことを実感しています。自分で考え、周りと協議し、チームで物事にあたること、大学生として知っておくべき社会の基礎を身に着けられました。私の「ものづくりを学びたい」という意欲が満たされるだけでなく、様々な経験ができたのは、この活動を選んだおかげだと思っています。

菊池 広樹（機械工学科3年）

このプロジェクトで私は沢山の経験や知識を得ることができました。私はCADによる設計図の作成をしていました。CADは授業で習う程度の知識しかなかったのですが、一から設計図を作成することはとても大変でした。講義を受けアルバイトをしながらも時間を見つけて、設計図を作成しては問題点や訂正点を探し作り直すといった繰り返しで、逃げ出したくなることも多々ありました。しかし今思い返すと、大変であった半面、充実した時間でもあったと思います。授業で学んだことを生かすだけでなく、完成時には自分の力で成し遂げたという達成感を味わうことができました。このプロジェクトは、楽しい事だけでなく嫌な事もありますが、自分を大きく成長させられる活動です。

芦田 翼（機械工学科3年）

私はプロジェクトに所属し、早い段階で班のリーダーを任されました。同級生や後輩だけでなく、時には先輩に対しても指示を出す立場になり、あまり人と接することが得意でなかった私は大変苦労しました。限られた時間やメンバーをどう割り振ればいいのか考え指示を出すことは難しいことでしたが、みんなで協力することで機体を完成させることができました。その中で、一人で考えることの大切さと、周りと相談して決めることの重要さの両方を知ることができました。まとめる側、指示する側の大変さを知ることができたのは、このプロジェクトだったからこそだと思います。

鳥人間プロジェクト メンバー一覧

役 職	所 属	氏 名
顧問	機械工学科 教授	羽 木 秀 樹
アドバイザー	機械工学科 准教授	原 口 真
代 表	機 械 工 学 科 3 年	栗 本 崇 司
副 代 表	機 械 工 学 科 3 年	菊 池 広 樹
パイロット	機 械 工 学 科 3 年	佐 藤 有 起
	機 械 工 学 科 3 年	芦 田 翼
	機 械 工 学 科 3 年	庄 勝 利
	機 械 工 学 科 2 年	安 田 創 一
	電気電子工学科 1 年	オオイコックリオン
	経営情報学科 1 年	堀 川 健 斗
会 計	経営情報学科 1 年	猪 俣 章 大
	デザイン学科 1 年	栄前田 壱 志

※メンバー構成は、2017.3.1現在です。

新規メンバー募集中！！

一緒に活動しましょう！！



平成28年度 特別奨励金

本学では、特定の資格を取得した学生を対象に、特別奨励金を給付しています。

資格・成績など	氏 名	人数
第2種電気主任技術者	柏 山 和 樹	1 名
第3種電気技術主任者	岩 崎 颯	1 名
技術士補	近 藤 哲 哉 村 山 雅 崇 松 井 淳 季 早矢仕 和 希 岸 上 大 地 富 山 和 紀 牧 田 峰 喜	7 名
実用英語技能検定準1級	田 口 慧 チュー ツ ウン	2 名
機械設計技術者3級	前 川 貴 俊	1 名
第1種放射線取扱主任者	石 田 哲 也	1 名
第2種放射線取扱主任者	橋 本 和 昌 北 西 真 希	2 名
エネルギー管理士(電気管理士)	岩 崎 颯 柏 山 和 樹	2 名
TOEIC 800点以上	アン ジンイー	1 名
第1種電気工事士	上 原 直 生 橋 本 和 昌	2 名
福祉住環境コーディネーター2級	山 本 浩 大 中 林 知 章 野 坂 朋 矢 長 田 涼 佑 笹 木 朝 光 西 村 夏 未	6 名
宅地建物取引士	牧 野 真 吾 大 谷 和 摩 三 浦 史帆里 中 林 知 章 平 野 忍 佐 野 剛 稲 井 真 也	7 名
基本情報技術者	石 黒 鳴 海 乗 京 晋 吾 福 嶋 勇 太 南 恵梨花 宮 上 遼 吉 田 崇 志 寺 尾 崇 弘 前 田 翔 汰	8 名
日商簿記検定2級	南 川 直 人	1 名
TOEIC 700点以上	田之下 眞 廣 カムスリ ジナッタポー	2 名
カラーコーディネーター2級	西 村 早 絵	1 名
危険物取扱者(甲種)	守 山 和 希	1 名

※上記記載内容は、平成28年10月末日までに学務課へ申請あり、その中でも取得難易度の高い資格に合格した学生を記載しています。

学内奨学金制度紹介

奨学金区分		内 容	
1	特待生奨学金	[H27年度以前入学者] 授業料50%減免 [H28年度以降入学者] 学納金50%減免	対 象：学部2年次以上及び大学院博士前期課程 条 件：前学期末までの成績 GPA 評価3.80以上 ※博士前期課程1年生前期：学部の成績 それ以降は前学期の成績 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
2	[H27年度以前入学者のみ] 準特待生奨学金	授業料20% 減免	対 象：学部2年次以上及び大学院博士前期課程 条 件：前学期末までの成績 GPA 評価3.50以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
3	学習奨励金	[H28年度以降入学者] 5万円給付	対 象：学部2年次以上(博士前期・後期課程は対象外) 条 件：前学期の成績 GPA3.80以上かつ前学期の修得単位数 が15単位以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
4	育英奨学金	[H27年度以前入学者] 学納金50%減免 [H28年度以降入学者] 学納金30~70万円減免 [家計急変者] 学納金70万円減免 ※該当年度を適用 (前期なら前後期、 後期なら後期のみ)	対 象：学部2年次以上及び大学院全学年及び家計急変者 条 件：学業成績優秀であり、経済的理由により修学に困難がある学生、又は本学の定める家計急変事由が発生した学生 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
5	[H27年度以前入学者のみ] 学生生活奨学金	月額3万円給付 ※該当年度を適用 (前期なら前後期、 後期なら後期のみ)	対 象：学部2年次以上及び大学院全学年 条 件：経済的理由により修学に困難がある学生、学期末までの成績 GPA 評価2.80以上 募集期間：前期・後期(年2回半期ごと)
6	スポーツ特待生 奨学金	大会成績等により 学納金又は授業料減免 ※最大4年間。 ただし継続審査あり	対 象：スポーツ・吹奏楽推薦入試による入学予定者及び学部、 条 件：大学院全学年 件：本学の規程による
7	災害特別奨学金	被害状況により 学納金等減免 又は災害援助金支給	対 象：入学予定者及び学部、大学院全学年 条 件：本学の規程による 募集期間：随時(ただし、被災日より1年以内)
8	兄弟学費減免 奨学金	最年少にあたる学生の 学納金50%減免	対 象：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍している最年少の学生 条 件：学園の設置する各学校に兄弟姉妹で在籍していること 募集期間：毎年4月
9	外国留学奨励 奨学金	学納金の半額を上限に、渡航費、生活補助費または、留学先学費の一部補助	対 象：本学学部生2年次以上または工学研究科1年次以上の 条 件：本学の規程による 者で交換留学生又は認定留学生である者
10	大学院進学奨励 奨学金	(第1種) 学納金の半額減免 (第2種) 国立大学標準額と本学 学納金との差額を減免	対 象：本学が指定する入試区分で受験した入学予定者 条 件：本学の規程による
11	離島・沖縄県 出身者支援奨学金	国立大学標準額と本学 学納金との差額を減免	対 象：本学の規程による 条 件：本学の規程による ※最大4年間。毎年度末に継続審査有り
12	特別奨励金	資格取得もしくは優秀な 成績を修めたクラブ等に 奨励金支給	対 象：学部・大学院全学年 条 件：本学の規程による 募集期間：随時

▶ 就職活動スケジュール

Job hunting schedule

1 年 生		2 年 生			3 年 生											4 年 生																																																																				
4月	5月	4月	5月	8月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																								
●新入生キャリアガイダンス（自己発見レポート実施） ●自己発見レポート活用ガイダンス ●業界研究セミナー（県内企業見学会）																	●インターンシップ概論ガイダンス ●就職ガイダンス1（就職活動の心構え） ●就職ガイダンス2（就職活動、今何をすべきか） ●就職ガイダンス3（キャリアアプローチ） ●就職試験対策講座1（自己分析講座） ●就職試験対策講座2（金銭教育）																	●証明写真撮影会 ●就職ガイダンス4（キャリアアプローチ活用ガイダンス） ●就職ガイダンス5（履歴書の書き方） ●就職試験対策講座3（メイクアップ講座男性編・女性編） ●就職試験対策講座4（自己分析） ●就職試験対策講座5（ヴォイストレーニング） ●就職試験対策講座6（コミュニケーションセミナー） ●就職試験対策講座7（履歴書の書き方） ●就職試験対策講座8（業界・職種を知ろう） ●就職試験対策講座9（面接対策セミナー）																	●学内企業合同説明会 ●学内企業合同説明会 ●都市圏就職活動セミナー ●就職ガイダンス6（合同企業説明会のマナー講座） ●就職試験対策講座10（グループディスカッション） ●個別企業説明会（随時） ●特別講座開講説明会 （基本情報・宅建・公務員）																	●就職内定者フォローセミナー																
●特別講座開講説明会 （基本情報・宅建・公務員）																	●特別講座開講説明会 （基本情報・宅建・公務員）																																																																			

※3月1日～エントリー開始

※3月～会社説明会・会社訪問

※3月～エントリーシート・履歴書提出

※3月～筆記試験・適性検査など

※6月～採用選考本番

▶保護者の皆さまへ

キャリアセンターは、学生の皆さんの将来の夢を実現してもらうために、入学時から4年間を通してキャリア形成・就職支援に取り組んでいます。特に就職活動が本格化する3年次からは、実際の就職活動に万全の体制で臨むことができるよう、ガイダンスやセミナー、各種対策講座などを数多く実施しています。その一方で、多様化していく就職活動を乗り越えて行くことは、学生の皆さんにとって多大なストレスを抱えることになると感じています。そんなときに支えとなるのが保護者の皆さんの存在です。保護者の皆さまにも現在の就職状況

就 職 実 績

Employment record

▶保護者の皆さまへ

キャリアセンターは、学生の皆さんの将来の夢を実現してもらうために、入学時から4年間を通してキャリア形成・就職支援に取り組んでいます。特に就職活動が本格化する3年次からは、実際の就職活動に万全の体制で臨むことができるよう、ガイダンスやセミナー、各種対策講座などを数多く実施しています。その一方で、多様化していく就職活動を乗り越えて行くことは、学生の皆さんにとって多大なストレスを抱えることになると感じています。そんなときに支えとなるのが保護者の方々の存在です。保護者の皆さまにも現在の就職状況をご理解頂いたうえで、お子さまと対話し、相談のさせていただき最も身近なサポーターとなって頂けるようお願い申し上げます。

キャリアセンターでは、民間企業経験のある職員やキャリアカウンセラーなどの専門職員を学科ごとに配置しています。就職担当教員と連携を図りながら、一人ひとりの学生にあった豊かな人生を築くための第一歩となるよう万全で取り組んで参ります。

就職支援課 課長 渡邊 嘉子

▶ 就職先データ

Employment date

就職・進学状況

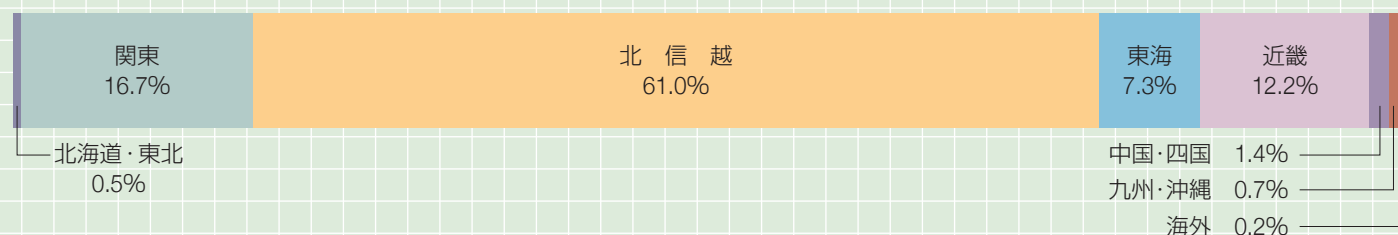
	工学部	大学院	合計
求人企業数	4,075社		
卒業者数	480名	15名	495名
就職希望者数	428名	13名	441名
就職者数	425名	13名	438名
進学者数	38名	1名	39名
就職率	99.3%	100.0%	99.3%

※就職率＝就職者数÷就職希望者数×100

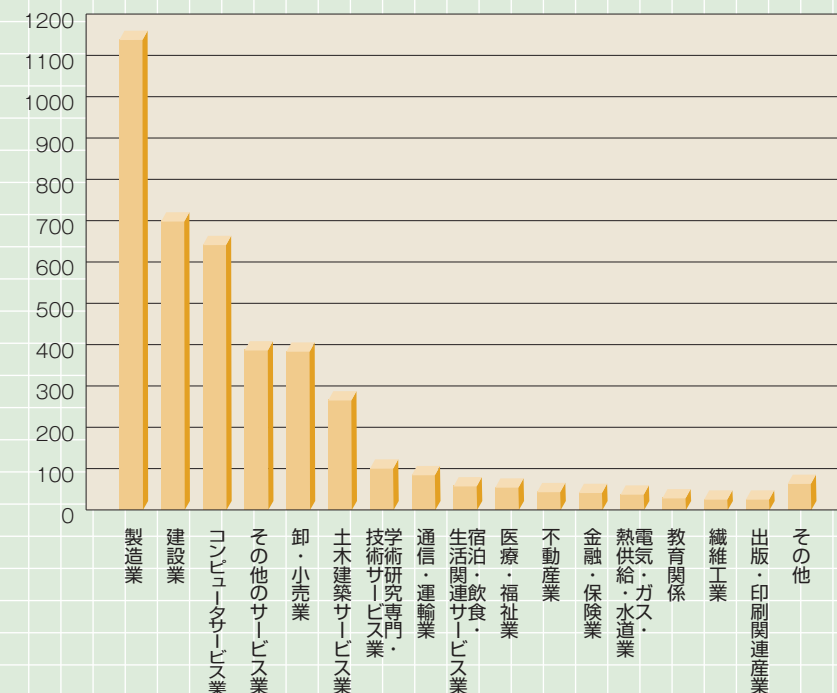
地域別就職状況

地 域	人 数	割 合
北海道・東北	2名	0.5%
関 東	71名	16.7%
北 信 越	259名	61.0%
東 海	31名	7.3%
近 畿	52名	12.2%
中国・四国	6名	1.4%
九州・沖縄	3名	0.7%
海 外	1名	0.2%

地域別就職割合



業種別求人状況



求人企業数（業種別）

求 人 企 業 数	4,075社
製 造 業	1,146社
建 設 業	698社
コンピュータ サービス業	641社
その他のサービス業	386社
卸 ・ 小 売 業	383社
土木建築サービス業	265社
学 術 研 究 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	100社
通 信 ・ 運 輸 業	84社
宿 泊 ・ 飲 食 ・ 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	57社
医 療 ・ 福 祉 業	54社
不 動 産 業	43社
金 融 ・ 保 険 業	41社
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	37社
教 育 関 係	28社
織 維 工 業	25社
出版・印刷関連産業	24社
そ の 他	63社

(平成29年3月修了・卒業者情報)

本学大学院 の ご紹介

大学院進学 の 勧め

文部科学省の平成28年度学校基本調査（速報値）によれば、高校卒業者の現役大学進学率は49・5％です。高校卒業者の2人に1人が大学に進学している状況下で、大学在学中の就職活動を有利に展開するためには何らかの差別化を図る必要があります。福井工業大学ではキャリアアセンターを中心に学生のキャリア形成や資格取得支援に力を注いでいます。こうしたキャリア形成や資格取得に加え、社会に出てからの活躍の場をさらに広げるための選択肢として大学院進学があります。平成5年度と平成25年度における大学卒業率および大学院修了者の就職動向の比較を文部科学省のWebサイト「参考URL①」で見ることができますが、製造技術者に占める修士課程修了者の割合は平成5年度（22・5％）から平成25年度（50・4％）の20年間で倍増しています。全国平均で理工系学部 of 大学卒業者の約4割が大学院に進学している現状を考えますと、今後製造技術者に占める大学院修了者の割合は増えることはあっても減ることはないと言えます。本学では、学生自身の努力や卒業生の企業での活躍等により、98・5％（平成28年3

月卒業率実績）という全国レベルでもトップクラスの就職率を誇っています。就職先で長年にわたって働くためには、自分で研究開発した製品が社会を支えている、プロジェクトリーダーとしてチームをまとめているなどの達成感や満足度が、より大切であると言えます。ご子息・ご息女が製造技術者や研究開発者として充実感を抱きながら、他の大学院修了者と同じ土俵で互角以上に渡り合えるように大学院進学をお勧めします。

本学大学院のご紹介

本学大学院の工学研究科には、応用理工学専攻と社会システム学専攻の2専攻が設置され、いずれも修士前期課程（修士課程、2年間）と修士後期課程（博士課程、3年間）が設けられています。各専攻には改組前の学部学科に対応したコースがあり、学部からの一貫教育によってより高度な専門知識と技術を身につけることができます（本学大学院の構成については本学ホームページも御覧下さい）。修士前期課程では、2年間で30単位を修得することが修了要件の一つとなっています。学部（4年間で124単位修得）に比べてゆとりがあるように感じられるかもしれませんが、これは大学院では研究に取り組むことが前提になっているからです。研究活動を通して、社会で役立つ論理的思考力や課題解決能力、さらにはプレゼンテーション能力を高めていきます。本学大学院では研究業績等によって在学期間を短縮することもでき、最短3年間で博士（工学）の学位を取得することも可能です（詳しくは学務課にお問い合わせ下さい）。また、大学院学生にはティーチング・アシスタント（TA）として実験や演習等の教育補助業務を依頼しています。TAによる補助業務は、教えることを通して自ら学ぶという教育的配慮の下に

行われているものであり、TAを経験することによって実力が向上し、人間的にも大きく成長することになります。

進学のための経済的支援

学部の4年間に修士前期課程の2年間が加わるとなると経済的な負担を懸念されることと思います。本学では、大学院入学予定者で、本学での学習意欲を持つ者に対し、選考により学納金を減免する大学院進学奨励奨学金制度があります。第1種は本学学納金50％減免、第2種は本学学納金と国立大学大学院標準額（学納金）の差額を減免します。さらに、本学では大学院入学料が不要なため、入学初年度は国立大学大学院に比べて入学料（282,000円）の分だけ安くなります。また、前述したTA業務では一人当たり月額4～5万円支給されますので、学納金の大半を賄えることになります。就職後の初任給も前期課程修了者と学部卒業者とでは月額で2～3万円の差がありますので、大学院進学に要した費用は比較的短期間の内に取り戻すことができますと言えます。

大学院で過ごす年月は密度が高く、極めて有意義です。専門技術者として研究開発部門で活躍するというご子息・ご息女の希望を叶えるために、保護者の皆様方には本学大学院については是非「一考下さいませ」ようお願い申し上げます。

参考URL① http://www.next.go.jp/a_menu/koutou/sangaku2/1351875.htm

社会システム学専攻

（博士前期課程／博士後期課程）

土木環境工学、建築学、デザイン学、経営情報学の4コースを設置し、各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成。博士後期課程では、建築や社会基盤の計画・調査・設計・施工・維持管理、デザインによる生活文化や生産・環境・情報の価値創造、プロジェクトマネジメントおよび望ましい情報社会の構築に貢献できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を育成します。

土木環境工学コース

土木計画学、水工学、環境工学、地盤工学、構造工学の各分野の教育と研究を通じて、社会基盤施設の計画・施工・維持管理および自然環境の保全を考究し、安全・安心な社会の構築に寄与できる人材を育成します。

建築学コース

建築計画・意匠、建築設計、建築環境・設備、伝統木造建築、建築構造工学の各分野の教育と研究を行い、個々の建築の個性とコンセプトおよび都市・地域社会のコンセプトとの調和を図り、快適な都市・居住空間の実現に貢献できる人材を育成します。

デザイン学コース

生活創造科学、生産・環境デザイン学、情報・伝達デザイン学の各分野の実践的な教育と研究を行い、生活・技術・文化・芸術などの理解の上に、豊かな生活環境を生み出すための魅力的な提案とその実現に貢献できる高度な専門性を備えた人材を養成します。

経営情報学コース

高度情報社会に対応した企業経営および情報通信技術に関する教育と研究を行い、望ましい情報社会の構築に向けて積極的に提言し、貢献できる人材を育成します。

応用理工学専攻

（博士前期課程／博士後期課程）

電気電子情報工学、宇宙情報科学、機械工学、環境生命化学、原子力技術応用工学の5コースを設置し、各コースの専門分野の教育と研究を行っています。博士前期課程では、広い視野と高度な専門知識・技術、新しい問題提起とその解決能力を備えた創造性豊かな人材を養成。博士後期課程では、基幹あるいは先端理工学分野における目覚ましい科学・技術の発展に対応できる専門知識と応用能力、研究能力を備えた人材を育成します。

電気電子情報工学コース

電力工学、電子材料、デバイス工学、物性工学、制御工学、コンピュータ情報工学の各分野の教育と研究を行い、エネルギー、半導体、デバイス、情報技術などの広い領域で革新を続ける電気電子情報工学分野の研究開発に貢献できる人材を育成します。

宇宙情報科学コース

宇宙環境科学、地球環境計測工学、衛星通信工学、情報処理工学の各分野の教育と研究を行い、宇宙空間を利用する時代に対応できる人材を育成します。

機械工学コース

材料工学、振動工学、流体工学、熱工学、機械システム工学の各分野の教育と研究を行い、あらゆる産業に関わりをもつ機械工学の分野で活躍できる人材を育成します。

環境生命化学コース

応用化学、環境科学、材料科学、応用生物学、生命科学、生体工学の各分野の教育と研究を行い、資源・エネルギー・地球環境・食糧問題等、人類が直面している重要課題の解決や安全で豊かな循環型社会の構築に貢献できる人材を育成します。

原子力技術応用工学コース

原子力工学、原子力発電工学、放射線応用工学の各分野の教育と研究を行い、原子力発電技術分野で高度な専門知識・技術を身につけた人材を育成します。

大学院についての問い合わせ：入試課／☎0120-291-780

「研究室を訪ねて」

ギヤバを増やしたそばで新商品開発

環境・食品科学科 准教授
大能 俊久



米、麦などの穀類には、アミノ酸（ギヤバ）という機能性成分が含まれている。ギヤバは血圧を下げる効果、副交感神経活動の亢進、自律神経障害の改善、一時的なストレスの低減などが報告されている成分である。穀類に含まれるギヤバを増やした商品として発芽玄米がこれまでに発売されている。発芽玄米は、玄米を水に浸漬して発芽させることによりギヤバを増やした商品である。水に10時間以上浸漬することから、微生物による腐敗や異臭が発生しやすいという問題点があった。

筆者らは鋭意研究を行い、水に浸漬しない方法でギヤバを増やす技術を見つけた。密封加熱法である。

密封加熱法とは、穀類をアルミ箔を使用したパウチなどに入れて密封し、例えば70℃で15時間程度加熱する方法である。密封加熱した玄米に存在するギヤバ量は加熱前に比べて約3倍まで増加し、発芽玄米と同等の100gあたり約15mgとなった。密封しないで加熱しても単なる乾燥となりギヤバは増えない。密封して加熱することが肝心である。また、密封加熱法では水分15%程度の玄米を加熱するだけでギヤバを増やすこと

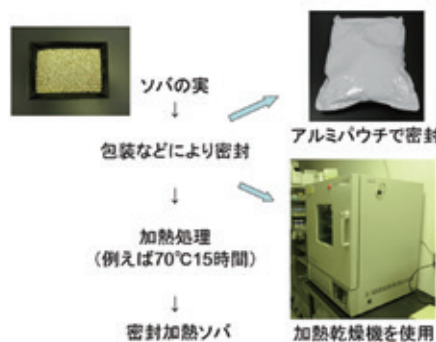


図1 密封加熱法の概要

ができるので、微生物が繁殖することとなく微生物が原因の腐敗や異臭の発生危険がほとんどない。

密封加熱法によりギヤバを増やす素材として玄米より適するものはないかと、現在研究を進めているところである。現段階で最も適していると考えられるのが「そば」である。水分15%程度のそばの実を70℃で15時間程度加熱すると、加熱前に比べて約6倍にギヤバ量が増加した。そば100gあたりのギヤバ量はおよそ30mgとなり、発芽玄米の約2倍の量にまで増加させることができることが分かった。

ギヤバは水溶性であり、このそばを粉にして麺を作るとせっかくの



図2 学生達による食品の試作

ギヤバが茹でる湯の方に移行してしまふ。そこで、学生たちにこのギヤバが増えたそばを食材として使用し、ギヤバを逃がさない調理方法で食品を試作してもらっている。最終的な食品を企業へ新商品として提案しながら、併せて密封加熱の技術も売り込みたいと考えてのことである。これまで、学生たちは「そばがき」「そばスープ」「そば団子」などを試作してきた。最近ではそば粉に白玉粉を加えてそば団子を作り、おしるこ風にアレンジしたものを作っている。

先日、味に改良を重ねたおしるこ風そば団子を福井県内食品企業の商品開発担当者へ試食してもらった。



図3 おしるこ風そば団子

試食後に「そばの風味も残っていておいしい」との高い評価を得ることができた。

今後も、学生たちに協力してもらいながら、最終的な食品を数品揃えてみたい。そして、学生たちとその食品を携えて福井県内食品企業へ出向き、福井工業大学発の新商品を目指して商品化の提案を行いたいと考えている。



大学連携センター「Fスクエア」完成・5大学連携授業開始

▼施設デザイン・本学デザイン学科教員、学生が企画

平成28年4月9日(土)に福井駅東口にある福井アオッサ7階に大学連携センター「Fスクエア」がオープンしました。この施設は福井県内の全ての大学、短期大学、高等専門学校が集い、学べる拠点として整備されたサテライトキャンパスであります。今回この施設のインテリアデザイン・家具デザイン等の企画は、本学デザイン学科の川島洋一教授と5人の学生によって行われたもので、施設全体はホワイトを基調にデザイン性はもとより機能性にも優れ、学生のアイデアも多く採用されるなど、とても解放感のある施設であり、これから県内の多くの学生に利用されることが期待されています。また「Fスクエア」オープンの3日後の、4月12日(火)から5大学連携授業が開始されました。前後期で30科目の共通講座が計画される中、県内大学に先駆けて本学経営情報学科段野聡子講師による授業科目「ワークライフバランス概論」が開講されました。

文部科学省の支援を受けて大型プロジェクトが始動します！

▼「宇宙」事業推進のために地域と協働する『ふくい PHOENIX プロジェクト』

本学が文部科学省の私立大学研究ブランディング事業に申請した大型プロジェクトが採択され、5年間の予定で全学挙げての事業が開始しました。この事業には、198校からの申請があり、本学を含む40校が選定されました。この事業は、学長のリーダーシップの下、全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学に対して、文部科学省が支援する事業です。

本学のプロジェクト(ふくい PHOENIX プロジェクト)は、地域の自治体などと連携しながら、「宇宙」に関する研究を本学のブランドとして発展させる事業です。具体的には、図1に示すように、本学所有の直径10mのパラボラアンテナなどを利用した3つの研究軸での事業を行います。(A)宇宙研究軸 衛星利用研究の推進、県内企業で製造された部材を搭載した超小型衛星の開発、超小型衛星による軌道実証とハイパースペクトルカメラによる先進的な地域環境観測を行う。(B)観光文化研究軸 県内の代表的大型公共施設である「恐竜博物館」「エンゼルランド」「セレンプラネット」と連携し、宇宙を題材にした地域資源の発掘・深化を進め、観光・文化の振興に繋げて、交流人口増大や地域イメージアップに発展させる。(C)地域振興研究軸 研究成果を地域防災、宇宙関連産業の育成、精密農業などに応用発展することともに、基盤技術の地域への普及と地域人材の育成を行う。また、本事業はこれらの研究に取り組むだけでなく、学内外での連携や広報などのブランディング活動にも注力しますので、後援会の皆様にもご協力、ご支援をお願い致します。

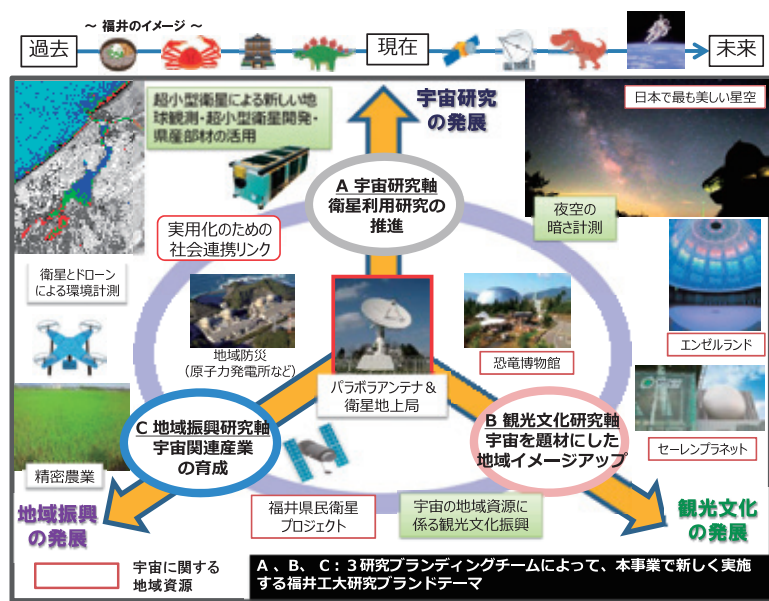


図1 本事業のイメージ図

ご相談窓口のご案内

学習・就職・学生生活など、日頃から気に懸かっていることやご心配ごとがございましたら、お気軽に下記担当課へご相談ください。

問い合わせ先		メールアドレス
総合窓口	0776-29-7864 (庶務課)	syomu-u@fukui-ut.ac.jp
学 び (教 務 関 係)	0776-29-7865 (学務課)	kyomu-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7870 (図書課)	tosyo-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2403 (学習支援室・教職支援室)	gakusyu@fukui-ut.ac.jp
暮 ら し (学 生 生 活 関 係)	0776-29-7867 (学務課)	gakusei-u@fukui-ut.ac.jp
	(医務室)	imushitsu@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-2414 (学生生活支援室)	
進 路 (大学院進学関係)	0776-29-7871 (入学課)	kouhou@fukui-ut.ac.jp
進 路 (就 職)	0776-29-7868 (就職支援課)	syusyoku@fukui-ut.ac.jp
大学の研究支援、社会貢献活動、同窓会	0776-29-2661	shakai-u@fukui-ut.ac.jp
	0776-29-7834 (社会連携推進課)	futcrc@fukui-ut.ac.jp
セ ン タ ー 管 理 課	0776-29-2671	
情 報 シ ス テ ム セ ン タ ー	0776-29-7873 (電算管理課)	densan@fukui-ut.ac.jp
出 納 室 (学 費 納 入 関 係)	0776-29-7854	
あ わ ら キ ャ ン バ ス	0776-79-0111	

※発信元や通信の事由が的確でない電子メールに関しましては、お応えしかねる場合がございますのでご了承ください。

医務室からのお知らせ

充実した学生生活を送るためには、心身共に健康であることが大切です。
『自分の健康は自分で守る』事ができるよう、医務室では学生の皆さんの健康のサポートをしています。

場 所 大学2号館1階 学務課の隣(2号館自動ドア入ってすぐ左)
開室時間 平日:月~金 8:30 ~ 17:30
スタッフ 看護師1名
そ の 他 車椅子1台、担架2台、AED1台を設置しています。

【利 用 案 内】

1. 病気やケガの応急処置、医療機関紹介

体調がすぐれないときや、ケガをしたときの応急処置等を行います。また、体調が回復するまでしばらく休養したい、持病があるため授業の空き時間に休養したい等の時に利用することも可能です。

2. 学生定期健康診断

学校保健安全法に基づき、学生は必ず全員受けなければならない義務があります。また、健康診断証明書を発行するために必要となります。特に3年生、4年生、大学院生は就職活動で必要になる場合があります。

3. 健康相談(身体・こころ)

学生生活での不安や悩みなどについて随時対応します。

4. 健康チェック

5. その他

献血・AED 講習会・インフルエンザ予防接種
インフルエンザ予防接種については後援会からの補助金もあります。

平成29年度 学部学科別教員一覧

工 学 部			
電気電子工学科		機械工学科	建築土木工学科
教 授	青山 隆司	教 授	片岡 勲
教 授	藤田 輝雄	教 授	宇治橋 康行
教 授	鹿間 敏弘	教 授	竹田 周平
教 授	中尾 一成	教 授	高島 正信
教 授	西田 好宏	教 授	仲地 唯治
教 授	中城 智之	教 授	谷脇 一弘
准教授	栗島 史欣	教 授	市川 秀和
准教授	中道 正紀	教 授	多米 淑人
		准教授	五十嵐 啓
		准教授	下川 勇
		准教授	吉村 朋矩

環境情報学部			スポーツ健康科学部
環境・食品科学科	経営情報学科	デザイン学科	スポーツ健康科学科
教 授	田中 智一	教 授	池田 岳史
教 授	矢部 希見子	教 授	川島 洋一
教 授	草桶 秀夫	教 授	三浦 英夫
教 授	廣瀬 重雄	教 授	山内 勉
教 授	原 道寛	准教授	西尾 浩一
教 授	笠井 利浩	准教授	三寺 潤
教 授	柏山 祐一郎	准教授	近藤 晶
准教授	辰巳 佳次	講 師	玉野 哲也
准教授	大能 俊久	講 師	藤田 大輔
			講 師
			野尻 奈央子
			講 師
			栗本 宣和
			講 師
			辻本 典央
			講 師
			前川 剛輝
			講 師
			内藤 景

基礎教育機構			
教 授	森島 洋太郎	外国語担当助教	エドウィン ハート
教 授	蔵田 浩之	外国語担当助教	クリストファー ビロット
教 授	赤澤 孝	外国語担当助教	ロバート ヘネシー
教 授	荒木 史代	外国語担当助教	フィービー シーモア
准教授	入学 直哉	外国語担当助教	ミッチェル ネルソン
講 師	小山 政史	外国語担当助教	デール ジェフリー
講 師	サム トムソン	外国語担当助教	ジャスティン ベイリー
講 師	ブラッドフォード リー		

学生数 2,336名

うち女子学生 224名
留学生 109名
(平成29年4月3日現在)

図書館・ラーニングコモンズ

Library・Learning Commons

図書館は大学2号館3階・4階に位置し、教育・研究の拠点として必要な図書館資料を収集管理しています。自学自習に利用できる図書館閲覧室のほかに、渡り廊下で繋がっているFUTタワー3階にグループ学習や発表の練習ができるラーニングコモンズがあります。どちらにも無線LANが整備されており、インターネットの利用が可能となっています。



図書館閲覧室

3階 人文系図書、資格・就職関連図書、新聞・雑誌等、蔵書検索機、コピー機、パソコン、プリンター、情報コンセントブース

4階 理工系図書、専門雑誌等、蔵書検索機、個人ブース

プレゼンテーションルーム



パソコン、DVD・ビデオ・ブルーレイプレイヤー、プロジェクター、電子黒板

コラボレーションスペース



パソコン、プリンター、プロジェクター、スクリーン、パーテーション型ホワイトボード、視聴覚資料、英語関連図書

ラーニングコモンズ

インフォメーションラウンジ



新着図書コーナー、掲示板

AV (視聴覚) コーナー



SSL

Student Space Laboratory

「ものづくりがしたい」という本学学生のために、自由にものを創造する場を提供しているのがSSL (Student Space Laboratory) です。

SSLには、3つの建物があり、1号館はデザイン工房と呼ばれ、デザイン学科の実習授業や、様々な木工作品制作に活用されています。2号館には技術職員が常駐する管理事務室や各プロジェクトが活動拠点とするプロジェクト室があります。また、3号館には、金属関係の工作の行える機械工作室が1階にあります。さらに2号館と3号館に挟まれた野外には雨天時でも大型作品の制作などのできる屋根付きオープンスペースがあります。

SSLでは、学生の様々な創作活動をより積極的に支援するため、「SSL公認プロジェクト」制度を設けており、公認プロジェクトとして認められたグループには、その活動に対して支援金や専用の活動スペースを提供しています。

現在活動している公認プロジェクトには、以下の5つのプロジェクトがあります。

- 1 鳥人間プロジェクト
- 2 マイコンカーの製作
- 3 軽自動車耐久レースプロジェクト
- 4 設計・デザインプロジェクト
- 5 模型製作プロジェクト



平成29年度

福井工業大学 地区懇談会 開催のお知らせ



昨年度の東海会場の様子

地区懇談会とは、6月～7月にかけて、石川・富山・滋賀・関西・東海の全5地区に本学教職員が出向き、福井工業大学の教育のご報告や就職セミナー、保護者の皆様と学科教員との個別面談を行うものです。また、昼食を兼ねた懇親会では保護者・大学教職員・同窓会会員・後援会会員との情報交換などが行われます。多数の方々のお申込みをお待ちしております。

開催一覧

開催地区	期 日	会 場
福井地区	5月27日(土)	福井工業大学 福井キャンパス
石川地区	6月4日(日)	石川県勤労者福祉文化会館
関西地区	6月11日(日)	大阪ガーデンパレス
東海地区	6月18日(日)	名古屋ガーデンパレス
滋賀地区	7月2日(日)	ピアザ淡海
富山地区	7月23日(日)	富山国際会議場

日程 (各会場共通)

※内容が変更となる場合もあります。

10:00 ～ 教育報告会・就職セミナー

学生のキャンパスライフ、就職情報等を大学教職員がお伝えします。

12:00 ～ 懇親会 (昼食)

13:00 ～ 保護者個別懇談会

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談ください。

※福井地区保護者個別懇談会は14:00～

※福井地区は、保護者個別懇談会のみ実施となります。

平成29年度

福井工業大学 後援会定期総会 開催のお知らせ



昨年度の総会の様子

本年も、福井キャンパスを会場に、後援会定期総会を開催いたします。当日は、総会のほか、「保護者個別懇談会」「ランチ体験」などのプログラムを用意しております。この機会に、学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者のみなさまのご参加をお待ちしております。

5/27^土

13:00 ～

福井キャンパス
大学2号館8階 2-802教室

受付/11:30 ～

福井キャンパス
大学2号館1階学生ロビー

平成29年度 福井工業大学後援会定期総会並びに保護者個別懇談会開催概要

日程

11:30 ～ 受付

「ランチ券」を配布します。学園レストランを体験してみてください。
(13時までの使用となりますのでご注意ください。)

13:00 ～ 後援会定期総会

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
 - (1) 平成28年度事業報告
 - (2) 平成28年度収支決算報告
 - (3) 平成29年度事業計画(案)
 - (4) 平成29年度収支予算計画(案)
 - (5) 平成29年度役員改選
 - (6) その他
4. 閉会

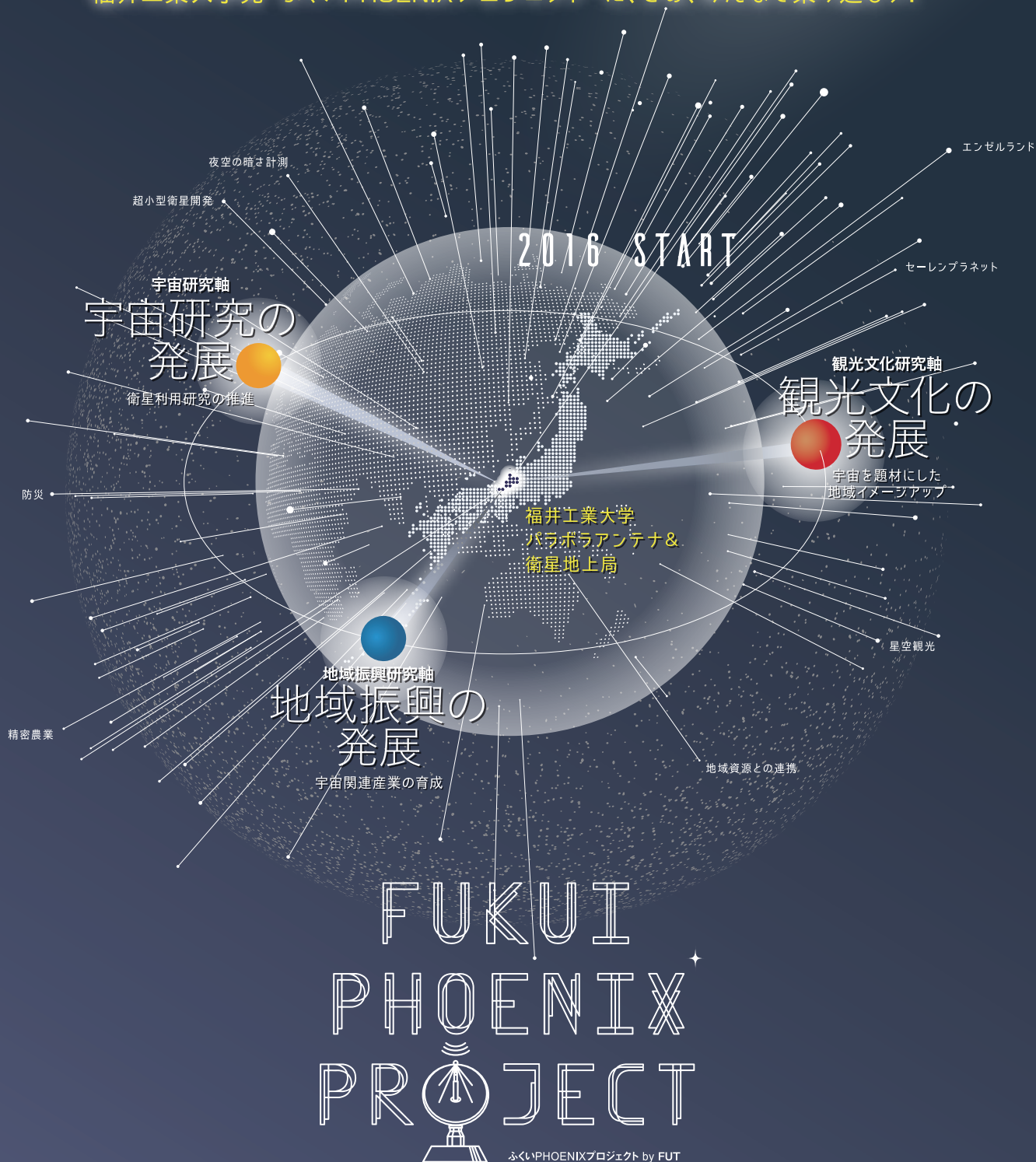
14:00 ～ 福井地区保護者個別懇談会

学業・就職・大学生活等お気軽にご相談ください。

福井は、宇宙への近道だった。

日本一美しい星空があり、
福井工業大学あわらキャンパスにある北陸最大のパラボラアンテナが夜空に向かい、
本学と地域が協働した衛星の打ち上げが2018年に計画される。
もしかして、私たちは宇宙にいちばん近い県民なのかもしれない。
未知なる宇宙へのワクワクとドキドキを詰め込んだ

福井工業大学発“ふくいPHOENIXプロジェクト”に、さあ、みんなで乗り込もう！



福井工業大学
Fukui University of Technology

社会連携推進課 ☎ 0120-99-7361

「宇宙」事業推進のために地域と協働する「ふくいPHOENIX」プロジェクト
文部科学省 平成28年度私立大学研究ブランディング事業